

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人 新光会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護事業所 優っくり
所在地	(〒958 - 0034) 新潟県 村上市 松山 2 0 1 番地 1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

<p>*住み慣れた地域で最期を迎えたいと願う、ご本人、ご家族に寄り添いながら看取りの援助を行います</p> <p>*在宅での生活が継続出来るよう、在宅医療の援助や、残存機能低下防止のリハビリ体操を行います</p>
--

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2021 年 2 月 1 日	従業者等自己評価 実施人数	(11) 人	※管理者を含む
----------------	-------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2021 年 2 月 10 日	出席人数 (合計)	(10) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (1 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (0 人) <input type="checkbox"/> その他 (1 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	医療ニーズの高い利用者を積極的に受け入れていく	食前の血糖測定 インシュリン注射 在宅酸素療法(バイパップ・酸素ボンベ・酸素濃縮装置の取り扱い) 訪問看護にて在宅での看取り援助	医療ニーズの高い利用者の受け入れをスムーズに行うことで、家族の不安や負担の軽減となった	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	医療ニーズの高い利用者の受け入れ 看取り	食前血糖測定、インシュリン注射 在宅、施設での酸素療法(動作時、静止時の酸素量調整)・呼吸困難時バイパップ使用の為、使用方法の指導 血圧、呼吸管理をしながら入浴介助 看護師付き添い呼吸管理しながらの送迎 訪問看護にて家族の精神援助、介護アドバイス等	毎日の血糖測定、インシュリン注射を行うことで血糖値の安定、体調管理が出来た。 家族の希望を考慮し在宅での看取りをすることが出来た。 酸素機器を自宅と施設に導入し退院後も通いを利用され入浴することが出来た
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	隣接する病院や同市内の医院、病院ともつと連携をとることが必要	協力病院との情報交換を行い状態が悪化した場合は受診や入院を依頼している	受診や入院の受け入れ機会が増えている
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	地域活動への参入	コロナ禍のため夏祭りの開催が中止 地蔵様の集まりに参加。脱水予防の指導	コロナ禍にて地域活動や行事に参加出来なかった為、今後は夏祭りの開催や地域行事への参加を積極的に行って行きたい

Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	地域の方々に事業所をもっと知ってもらい、安心して利用して頂けるようになる	コロナ禍にて地域行事への参加不可 在宅での訪問看護、訪問介護の実施	コロナ禍にて行事は出来なかったが、在宅への訪問や看取りに力を入れていく
-------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者(介護・看護)でカンファレンスを行い個々に必要な援助を行っている。 ・外部研修は困難な為オンライン研修にて学習することが出来た 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個々に応じた在宅支援に向けての計画を継続する ・外部研修や実地研修を取り入れ計画をたてる
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の残存機能維持、向上のため週 3 回リハビリ体操を継続する ・今後も体調変化に応じ食事形態の工夫や機能向上のため計画を継続する
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> ・病状悪化の際、協力病院での診察、入院受け入れの対応ができる ・今後も協力病院と情報交換を行い状態悪化時等スムーズに受診や入院が出来るように連携を図る
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事には参加出来ていない。 ・地域推進会議を通して地域の方々の意見を聞くことが出来る ・地域行事への参加を積極的に行い利用者と地域との交流を図る。 ・推進会議にて地域の方々の意見を取り入れ、地域に貢献出来る活動を行う
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の必要な方や看取り対応の方にも利用して頂き、対応することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ニーズの高い利用者にも安心して利用できるよう個々を理解し、症状にあった介護、看護の対応を心掛け、積極的に受け入れをしていく

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	3	8			機械をつけていても見てくれるのは有難い	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ <u>通い・泊り・訪問を組み合わせ、家族の負担を軽減している。</u> ・ <u>生活機能維持のためリハビリ体操行っている</u> ・ <u>看取り対応</u> ・ <u>緊急(自宅)の看護対応</u>					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	4	6	1		特にご意見ありませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ <u>個々の援助計画に基づき対応している</u> ・ <u>利用者とその家族に寄り添い、在宅での生活を支える、</u>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	2	4	3	2	特にご意見ありませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・年間計画を立てている ・個々にあった研修に参加					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	2	7	2		特にご意見ありませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・オンライン研修に参加 ・事業所内での勉強会開催					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情	2	7	2		特にご意見ありませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	報を共有する機会が、確保されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・カンファレンスにて情報交換 ・申し送りノートの活用 ・各自ケース記録を確認し情報共有を行う					✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	2	6	2	1	必要な事は反映させてほしい	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の観点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・会議で得た情報は申し送りをして共有している ・議事録の提示が遅いため会議の全体内容が伝わらない					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	1	7	2	1	特にご意見ありませんでした	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・精神的な負担が多い ・業務の負担が多い ・相談しても反映されない時がある					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> ・勤務体制や時間は希望を組み入れてくれる ・休みが取れる ・仕事内容のアドバイスがもらえる 					考えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		10	1		特にご意見ありませんでした	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・個々のファイルに必要情報を書き随時更新している ・カンファレンスにて情報交換し共有している 					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	4	7			特にご意見ありませんでした	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」な
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎用マニュアルにて車の操作や、緊急時の対応を伝えている ・天候や利用者に応じて2人体制で送迎し 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>ている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットに対しては次に対応できるよう対策をかんがえる ・緊急時対応、感染対策等、研修を行い安全に対応出来るようにしている 					<p>どが考えられます</p>
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	3	8			<ul style="list-style-type: none"> ・災害時は避難させてほしい ・災害時協力します 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
II サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセ	2	8	1		<p>いつでも連絡できれば安心</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療ニーズの高い利用者は緊急対応の 					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	メントが行われている	電話番号を提示している(24時間対応) ・家族の希望も考慮し在宅サービス計画を立てている ・					規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	3	6	2		特にご意見ありませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	3	8			家族の意見も聞いてくれる	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・サービス担当者会議を行い家族の考えを含めた計画を作成する ・状態変化がある時はその都度、家族と話し合い計画を変更する					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	4	7			特にご意見ありませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	4	6	1		特にご意見ありませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成する

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		相談し計画を立てている					ことが重要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	4	6	1		特にご意見ありませんでした	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・状態変化のある時は家族に報告し対応を変更している(車椅子対応や機械入浴に変更等) ・定期的に状態報告している ・状態変化に合わせて計画を変更する ・					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握	3	7	1		特にご意見ありませんでした	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・少なくとも週2回は必ず自宅で過ごす計画を立てている(看取りは除く)					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	している	・自宅訪問時にご家族の話をよく聞き、自宅での様子を確認する					を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	2	7	2		特にご意見ありませんでした	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・状態変化あるときは家族に報告し、かかりつけ医に受診して頂く(緊急時は協力病院か救急搬送となる) ・定期的に報告書を提出し報告している					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	2	7	2		特にご意見ありませんでした	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護で
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・介護、看護で情報交換している ・生活面は介護、体調管理は看護としてい					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							は、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に 応じた柔軟な役割分担を行うことが重要で す
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	3	7	1		特にご意見ありませんでした	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	4	4	3		特にご意見ありませんでした	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		供している					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	7	2		特にご意見ありませんでした	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ 契約時に説明しているが、理解困難な場合は繰り返し説明し理解して頂く ・ パンフレットを使用し説明					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	7	2		特にご意見ありませんでした	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ 個別の利用予定表を渡し分かりやすくしている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・送迎時、訪問時に確認している					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	7	2		機械は難しい 覚えられるか心配	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・機器の取り扱いは業者に来てもらい家族と一緒に指導を受ける ・操作方法の順番を機器に貼り分かりやすくする ・ケア方法はゆっくり説明できれば一緒に行う					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	7	4			特にご意見ありませんでした	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看取りは家族の意見を尊重し通い、泊り訪問対応している ・					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、	2	9			特にご意見ありませんでした	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	[具体的な状況・取組内容] ・リスク等も伝え、その上で家族の気持ちを尊重し対応している					と共有」について、充足度を評価します
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	2	7	2		特にご意見ありませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	4	5	2		機械つけても退院出来ることはいい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係
		[具体的な状況・取組内容] ・総合病院から退院許可が出たが酸素やインシュリン注射が必要な為、病院から紹介					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		され受け入れている					る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	2	6	3		特にご意見ありませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・決まっている方は多いが全てではない ・状態悪化傾向の際再確認している ・主治医と連携がとれて夜間診療して頂くときもある					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	4	6	1		病院が近くて安心	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・対応可能な医師と対応困難な医師がいる ・基本は主治医 ・主治医等対応困難なときは、協力病院に					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		対応して頂く					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	3	6	2		コロナ禍で何して過ごしているか。体操、映画、手作業などいと思います	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができる	5	4	2		特にご意見ありませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ような方法での情報発信が、 迅速に行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・議事録は職員が見ることのできるカウンターに置いてあるが作成が間に合わない事が多く文章での伝達は遅れてしまう。その為、会議で必要な事は送りノートを活用している					の2つの視点から、充足度を評価します
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	2	6	3		・松山の茶の間にまた参加してほしい	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
<u>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</u>							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している				11	特にご意見ありませんでした	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 取り組みしていません					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							<p>入してください</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			11		特にご意見ありませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>・日中は常に看護師が対応出来るが、夜間吸引必要な場合は看護師が夜勤となるため、24 時間吸引が必要な方の受け入れは困難。必要時であれば、受け入れ可能</p>					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れること				11	特にご意見ありませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ができる体制が整っており、積極的に受け入れている	[具体的な状況・取組内容] <u>受け入れしていません</u>					<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<u>7</u>	<u>4</u>				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	2	2	5	2	特にご意見ありませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	6	3	2		特にご意見ありませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		5	6		病院も施設の看護師もいるので、風邪予防や熱中症対策など発信してもらいたい	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<ul style="list-style-type: none"> ・茶の間等に参加し情報提供する 					<p>とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	<u>1</u>	<u>5</u>	<u>5</u>		<p><u>・茶の間等で教えて欲しい</u></p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p><u>・利用者の家族へオムツ交換、車椅子への移乗、食事介助等自宅で必要な介助方法を指導している。</u></p> <p><u>・近隣の方への指導は出来ていない為今後は近隣住民の方々にも勧めていきたい。</u></p>					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている→4 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている→6 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている→1 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・個別計画に基づき取り組みを行い月末に評価し、出来ていない所は見直し、新たな計画を立てている。 ・	特にご意見ありませんでした	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている→3 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている→5 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている→3 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・在宅酸素を使用し自宅で過ごすことが出来た ・体調不良や急変時は看護師に電話出来るように対応している	特にご意見ありませんでした	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている→3 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている→4 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている→2 4. 利用者の1/3には満たない→2 5. 看取りの希望者はいない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・看取りが近付くと自宅で過ごすか、施設で看取るか家族の希望を確認する。 自宅の場合は看護師が訪問し、施設の場合は泊りを増やし、吸引等必要な時は看護師が夜勤となる</p>	看取りをの人は安心出来ると思う	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」